

## ひろしまサンドボックス（第二次公募）優秀提案者等について

分野	事業名	代表者 ・コンソーシアム構成員	概要
健康・福祉	<b>AI/IoT活用による保育現場の「安心・安全管理」のスマート化</b> ～待機児童問題に係る保育士不足問題の解決～みんなが笑顔になる保育園を目指して～	<b>アイگران</b> (広島県広島市) ・ユニファ ・パシオン ・ヘルスケアマネジメント協会 ・あい福祉会	<b>(課題)</b> 保育現場では、お昼寝の時に児童一人一人の様子をチェックし、確認簿に記載するなど「安心・安全管理」の業務量及び心理的負担が大きい。また、それらが理由となり潜在保育士の現場復帰を阻害している。 <b>(提案)</b> センシング、スマート機器の導入により、様々な業務負担の軽減にチャレンジする。また、バイタルデータを取得し、児童の状態をデジタル上で管理する。
農林水産業	<b>スマートかき養殖IoTプラットフォーム事業</b>	<b>東京大学</b> (東京都文京区) ・シャープ ・江田島市 ・内能美漁業協同組合 ・ルーチェサーチ ・中国電力 ・セシルリサーチ ・NTTドコモ ・平田水産	<b>(課題)</b> かき生産量の増加と生産の効率化を実現する。また、通信インフラに起因する課題についても、合わせて解決を図る。 <b>(提案)</b> かき養殖に関する広範囲、多様種のデータを収集し、AIを活用した養殖に最適化されたデータを漁業者にわかりやすいデータとして提供するとともに、漁業者にデータ配信のための効率の良い通信インフラおよびサービスプラットフォームを構築する。
交通	<b>広島県の島しょ部の海上交通活性化実証事業</b>	<b>ピージーシステム</b> (広島県広島市) ・瀬戸内海汽船 ・せとうち観光推進機構 ・Intheory ・富士通九州 ネットワークテクノロジーズ	<b>(課題)</b> 島しょ部の人口減少、および島を結ぶ橋の整備により、島しょ部への定期航路の減少、減便が発生し、島に暮らす人々の海上交通手段が減っている。海洋観光の振興によって、島に暮らす人々の海上交通手段の継続的な維持を目指す。 <b>(提案)</b> 動的ジオフェンス技術を活用し、利用者の滞在履歴等からリアルタイムで観光客へプラスワン情報としてレコメンドする。さらに、船やかき筏の位置等をデータ化して海上利用者に共有することにより、海上交通の安全とマリンレジャー活性化する海上交通情報インフラ「海洋クラウド」(海洋版ダイナミックマップ)を整備する。
交通	<b>通信型ITSによる公共交通優先型スマートシティの構築事業</b>	<b>中電技術コンサルタント</b> (広島県広島市) ・広島大学 ・東京大学 ・自動車技術総合機構交通安全環境研究所 ・広島電鉄 ・マツダ	<b>(課題)</b> オープンデータソース(車両情報、信号情報、道路情報、人流情報、施設情報等)を有機的に連携させて、都心部～郊外定住部をシームレスに結ぶ交通環境を構築し、快適で安全・安心な「スマートシティ広島」を目指す。 <b>(提案)</b> 通信型ITSとオープンクラウドを活用し、公共交通機関の優先信号制御、交差点等での危険事象の未然防止、乗り換え利便性向上によるライドシェアの推進により、公共交通の安全性・利便性を高め、交通円滑化の更なる向上を図る。